

第39回夏休み塩の学習室 「動物にきこう！塩のひみつ2018」

たばこと塩の博物館（東京・墨田区）で
2018年7月21日（土）～8月26日（日）開催！

動物園のような会場で、いろいろな動物に話を聞いてクイズに挑戦！
小・中学生の自由研究にもぴったりの参加型企画

たばこと塩の博物館では、2018年7月21日（土）から8月26日（日）まで、知っているようで意外と知らない「塩」について学べる企画「夏休み塩の学習室『動物にきこう！塩のひみつ2018』」を開催します。

開館以来、小・中学生を主対象に開催してきた「夏休み塩の学習室」は、当館のシリーズ企画として定着し、今年で39回目を迎えます。今年の学習室のテーマ展示では、動物と塩のかかわりを学べます。

私たち人間に塩が必要なように、他の動物も生きるためには塩が必要です。人間は塩を入れた料理を食べていますが、他の動物はどうしているのでしょうか。実は、動物は「塩がすごく欲しい」「塩はそれほど欲しくない」「塩は欲しくない」の3つのタイプに分けられます。それではどの動物がどれにあたるのでしょうか。動物園のような雰囲気「動物にきこう！塩のひみつ」の会場には、実物大の動物パネルや剥製がいて、それぞれの動物の話を聞ける特別な装置で、塩とのかかわりを聞いてまわられるようになっています。塩とのかかわりがわかったら、クイズにチャレンジ。動物の特徴や塩とのかかわりを、楽しみながら学べる参加型の企画です。

このほか、実験ショーのスタイルで塩の性質を紹介する「塩の実験室」や、参加者自らが実験できるワークショップスタイルの「体験コーナー」を通して、自由研究に役立ちそうな塩の実験を紹介します。また、「塩のおはなし」では、展示にも登場する動物の中から、アオバトとマルミミゾウについて、それぞれ専門家を招いてお話いただきます。さらに、塩にまつわるいろいろな問題に挑戦するパソコンクイズ、メキシコ天日塩の配布コーナーなどもあって、夏休みの自由研究のヒントがいっぱいです。

* 学習室の構成については別紙「塩の学習室の構成①～⑤」をご覧ください。

第39回夏休み塩の学習室「動物にきこう！塩のひみつ2018」開催概要

名 称：第39回夏休み塩の学習室「動物にきこう！塩のひみつ2018」

（ダイ39カイナツヤスミシオノガクシュウシツ ドウブツニキコウ！シオノヒみつ2018）

会 期：2018年7月21日（土）～8月26日（日）

主 催：たばこと塩の博物館

会 場：たばこと塩の博物館 2階特別展示室・特設スペース、1階ワークショップルーム

所在地：東京都墨田区横川 1-16-3（とうきょうスカイツリー駅から徒歩8分）

電 話：03-3622-8801 / F A X：03-3622-8807 / U R L <https://www.jti.co.jp/Culture/museum/>

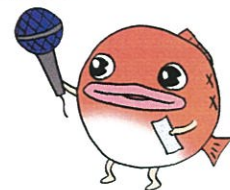
入館料：大人・大学生：100円（50円） / 満65歳以上の方（要証明書）：50円（20円）

小・中・高校生：50円（20円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

休館日：月曜日



お問い合わせ先：たばこと塩の博物館 広報担当：裊地（ほろち）由美子
E-mail：horochi@tsmuseum.jp

塩の学習室の構成①～⑤

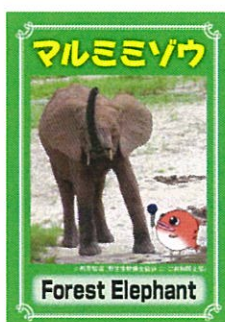
①テーマ展示「動物にきこう！塩のひみつ」

会場：2階特別展示室（開館中はいつでも参加できます）

動物と塩のかかわりは、「塩がすごく欲しい」「塩はそれほど欲しくない」「塩は欲しくない」の3つのタイプに大きく分けられます。動物園のような会場にはいろんな“動物たち”がいて、12種類の動物に話を聞きながら、塩のかかわりを学んでクイズに挑戦できます。

【「動物にきこう！塩のひみつ」の参加の仕方】

- (1) 会場に入ったら、「塩と動物のかかわり」の説明を読む。
- (2) 「発券機」で“チャレンジシート”をもらう。チャレンジシートには、動物の名前とその動物と塩のかかわりのクイズが書いてある。
- (3) チャレンジシートに書かれた動物のところに行くと“お話マシン”があって、動物に話が聞ける。その動物と塩のかかわりが分かったら、チャレンジシートに書かれたクイズに挑戦。
- (4) 答えを書いたら係員さんのところに持っていく。答えがあっていたら“動物カード”がもらえる。もらった動物カードを持って「発券機」に行くと、新たなチャレンジシートが出てくる。動物と塩のかかわり3つのタイプが全てそろったら、“動物カードフォルダ”がもらえる！



動物カードの一例



動物カードフォルダ

②「塩の実験室」

会場：1階ワークショップルーム（1日4回開催。先着順）

ストーリーに沿って、インストラクターが4つの実験を見せます！

1日4回 各45分。各回先着40名（各回15分前に開場予定）

第1回：10時30分～／第2回：13時～／第3回：14時30分～／第4回：16時～

【実験の内容】

- 海水から塩を作るには？
- 塩水は電気を通す？
- 真水と塩水の二段重ね
- ★ 塩水でせっけんを固める など

★印は会場で何人かに実験を手伝ってもらいます。

（内容を変更する場合があります）

* 各回とも実験の内容は同じです。

* 先着順のため、満室で参加できない場合があります。

Photo.01

「塩の実験室」のようす



③「体験コーナー」

会場：2階特設スペース（1日数回実施。整理券制）

備長炭電池づくりや塩の結晶づくりなどの簡単な実験が体験できるワークショップ。
塩についての質問もできます！

【体験メニュー】

■ 備長炭電池づくり（25分） ■ 塩の結晶づくり（25分）

- * 2種類の実験メニューを時間割にそって実施（時間割は日によって異なります）
- * 各回20名（整理券制）
- * 当日10時から2階特設スペースで整理券を配布（入館手続きが必要）



Photo.02 「体験コーナー」のようす



Photo.03
注射器の中で塩の結晶を作る“塩の結晶づくり”

④「塩のおはなし」

会場：3階視聴覚ホール（8月4日・5日開催。先着順）

小学校高学年生から大人を対象に、スライドを交えてわかりやすくお話する講演会です。

8月4日（土）14時～「アオバトはなぜ海水をのむの？」

講師：斎藤常實・金子典芳〈こまたん（野鳥観察グループ）〉

8月5日（日）14時～「マルミミゾウのくらしと塩なめ場」

講師：西原智昭〈野生生物保全協会 コンゴ共和国支部〉

後援：特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

* いずれも13時30分に開場

* 定員100名（先着順で定員まで入場できます）

⑤その他

☆教材用にメキシコ天日塩がもらえるコーナーがあります！（1階）



Photo.04

☆塩のことが学べる「パソコンクイズ」もあります！（2階）



Photo.05

画像データの用意がございます。掲載していただけるようでしたら、同封の返信用シートをご返送いただくか、画像の番号を下記までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

広報担当：裃地（ほろち） TEL 03-3622-8801 E-mail : horochi@tsmuseum.jp

返信用シート

(第39回夏休み塩の学習室画像希望)

たばこと塩の博物館 広報担当 裊地宛

FAX : 03-3622-8807

E-mail : horochi@tsmuseum.jp

「第39回夏休み塩の学習室」プレスリリースに掲載している画像5点を広報素材としてご提供します。必要事項をご記入のうえ、FAXかメールでご返送いただければ、ご希望の画像(jpeg)をメールでお送りします。

■広報用画像

チェック欄	画像No	キャプション・クレジット
☐	Photo.01	昨年開催の塩の実験室のようす
☐	Photo.02	昨年開催の体験コーナーのようす
☐	Photo.03	昨年開催の体験コーナーのようす（塩の結晶づくり）
☐	Photo.04	昨年のメキシコ天日塩配布コーナーのようす
☐	Photo.05	昨年のパソコンクイズコーナーのようす

■貴媒体について

貴社名 :	ご担当者名 :
ご連絡先 TEL : FAX :	e-mail :
媒体名 :	掲載予定日（号） :